

S 50

S-50 ppm 軽油

環境にやさしい低硫黄軽油をご使用のバス事業者の皆様へ



硫黄分が少ない軽油は、排出ガス中の粒子状物質（PM）などの発生を減少させ、環境の改善に大きく寄与する燃料です。この燃料は、今年の9月から東京都内の一帯のスタンドで販売が開始され、2003年4月より順次全国で給油できるようになります。

低硫黄軽油は全てのディーゼル車にお使いいただける軽油です。排出ガス中のすす（黒煙等：大気汚染物質）などを取除く装置が取付けられたディーゼル車には、低硫黄軽油をお使いください。

「S50 低硫黄軽油専用」ラベルが貼付けられたディーゼル車には、必ず低硫黄軽油をお使いください。

S 50

低硫黄軽油専用

「S50 低硫黄軽油専用」ラベル

環境にやさしくするために

日常点検・定期点検を励行して、必要な整備を行い、常に快適な状態を保ちましょう。

(S-50ppm軽油)

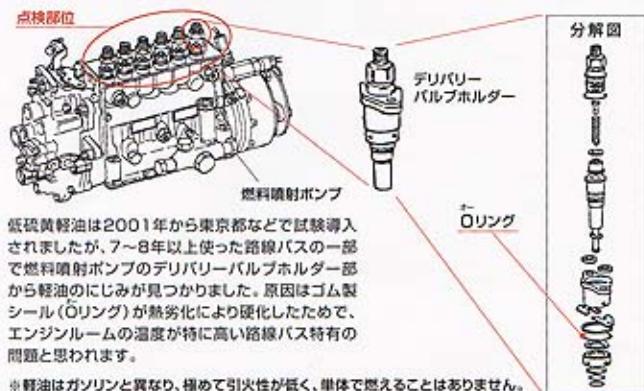
※「S-50ppm軽油」とは、硫黄分が50ppm含まれている軽油で、これまでに5000ppm(0.5%)→2000ppm(0.2%)→500ppm(0.05%)→50ppm(0.005%)と段階的に低減されてきています。



長年お使いになったバスで
低硫黄軽油を給油したら……

長年お使いになったバスでは、ごくまれに、軽油がにじみ出ることがあります。特に燃料噴射ポンプのまわりを点検してください（日常点検・定期点検時等）。

点検部位



低硫黄軽油は2001年から東京都などで試験導入されましたが、7~8年以上使った路線バスの一部で燃料噴射ポンプのデリバリー バルブホルダー部から軽油のにじみが見つかりました。原因はゴム製シール（Oリング）が熱劣化により硬化したためで、エンジンルームの温度が特に高い路線バス特有の問題と思われます。

*軽油はガソリンと異なり、極めて引火性が低く、単体で燃えることはありません。